

■魔女の谷のみえる展望台(愛知県都市公園条例の一部改正について)

愛・地球博記念公園来園者がジブリパークのチケットがなくても**魔女の谷**を上から眺められる展望台(夏の翼の撮影スポットも!)を設置します。またアクセスにはバリアフリー経路としてスロープカーを整備します。



平日は無料ですが、土日休日等(土日、休日、GW、学校の春・夏・冬休み)には出入口に監視員を配備するなどして安全を確保するため、中学生以上 150 円の使用料(小学生以下は無料)を条例で設定。

■ジブリパークもののけの里 OPEN!

ジブリパークの残りのエリアの一つ**もののけの里**が11月1日に開園! おこことぬしの滑り台やタタラ場での五平餅作りなど楽しい施設です。3月16日には**魔女の谷のみえる展望台**と**魔女の谷**が開園しグランドオープンです。



■トピックス

●千代田奉賛会解散総会

国府宮はだか祭大鏡餅奉納千代田奉賛会の解散総会が行われ、昨年の7月から家田鐵彦会長を先頭に献身的にご奉仕頂いた皆さんと尾張大國霊神社山脇宮司、鉄餅会大野会長はじめ関係の皆様のご尽力に感謝申し上げます。来年のはだか祭は令和6年2月22日、大鏡餅奉納はあま市さんです。



●腎臓病協議会定期大会

愛知県腎臓病協議会の第12回定期大会が名大付属病院講堂で4年ぶりに開催されあいち民主県議団団長として出席しました。大会では伊藤寿男代表理事のご挨拶や長期透析患者の表彰もあり、稲沢に来て妻と結婚する前から透析していて21年間も頑張っている永眠した義母の冥福を改めて祈りました。



●稲沢市消防団観閲式

秋晴れのなか稲沢市消防団観閲式が挙行され昼夜を問わずお仕事をもちながら稲沢市民の安心安全をお守り頂く11分団の皆さんの服装点検、機械器具点検、分列行進、一斉放水など勇姿を拝見し、稲沢市の無火災無災害を祈りました。火災が発生しやすい季節ですから**火の用心**宜しくお願いします。



●稲沢LCチャリティーコンサート

稲沢ライオンズクラブ(長屋和利会長)のメインアクトで元 JAYWALK 中村耕一 & OSAKA ROOTS さんによるチャリティーコンサート「愛を奏でる」を開催、司会は矢野きよ実さん(表題も)、(社)名古屋小児がん基金、(特非)あいち骨髄バンクを支援する会等に皆様からのチャリティー募金を寄附させて頂きました。



●平和まつり

第18回平和まつりが伊藤平和支所まちづくり推進協議会会長はじめ地域の皆さまのご協力により秋晴れのなかオープニングの六輪小学校鼓笛隊の皆さんにより開会、パイパイクラブや農協の産直朝市、平和町茶道クラブによる呈茶や作品展など大盛況でした。写真は大人気のはしご車試乗会です。



●そぶエイチョウ黄葉まつり

第26回そぶエイチョウ黄葉まつり(実行委員会会長:田中祖父江町商工会会長)のオープニングセレモニーが祖父江ぎんなんパークで開催され朝早くから多くの皆様にご来場頂き、山崎地蔵太鼓、テープカット、餅投げや祐専寺会場では抹茶も頂きました。また期間中には大村知事にもご来場頂きました。



愛知県議会報告

あいち民主県議団

J-PRESS

責任者: 鈴木純 名古屋市中区三の丸1-2
代表電話 052-961-2111 FAX052-961-3766

愛知県議会報告はあいち民主県議団及び議員に交付されている政務活動費を充当して作成・配布しています。県政へのご意見をお寄せください。

国府宮はだか祭 2月22日

12月1日開会の愛知県議会12月定例会の初日には一般会計101億3,692万円ほか**総額104億8,419万円の補正予算**が提出されました。この内約86億円は給与改定等です。一般会計の補正では愛知県基幹的広域防災拠点計画地内の埋蔵文化財発掘調査約9,000㎡に0.24億円(外に債務負担行為2.94億円)、**ゼロエミッション自動車の補助金**(EVmax40万円、PHV20万円、FCV60万円)申請件数の1.8倍増に1.37億円、首都圏から愛知県への移住の件数の増加に対し市町村が支給する**移住支援金**(ex1世帯100万円(国1/2、県1/4、市町村1/4))の補助に0.38億円、**2028年技能五輪国際大会の本県招致**(2024 仏リヨン、2026 上海)のPR資料やWSI事務局の現地調査受入(来年3月)に0.14億円などです。

国のデフレ完全脱却のための総合経済対策による物価高対策や公共事業などの追加補正約500億円も提出され閉会日に委員会審査の上、他の議案と共に可決(同意)しました。閉会中の継続審査の昨年度決算は一般質問最終日に認定しました。初めてのあいち県民の日、あいちウィークにご理解ありがとうございました。2024年がより佳き年でありますように!



祝! 稲沢市制65周年

稲沢市は昭和三十三年十一月一日に市制を施行し本年六十五周年を迎えました。記念式典では恒川武久前教育長はじめ叙勲褒章の方の紹介、市政功労者特別表彰(前市議の長屋宗正様、朽本敏子市議)など四十二名一団体の皆様表彰され、鈴木も宮田用水土地改良区の関係で賞状を頂きました。また、市政六十五周年記念特別表彰では七〇名十九団体の皆様に感謝状が贈られました。

鈴木は祝辞で**2005年の一市二町の合併に触れ**(第二の市制記念日、2025年愛・地球博と共に二〇周年)、また六十五年(鈴木も稲沢市と同じ昭和三十三年生まれで高齢者の仲間入り)というシルバード世代の節目の記念式典を契機に持続可能な稲沢市の更なる発展を祈りました。愛知県も昨年の県政一五〇周年を記念し制定した十一月二十七日のあいち県民の日に式典を挙行しました。

市制65周年のロゴマークは堀有美恵さんの作品

未来へつづくまちづくりへ一生懸命働きます。



愛知県議会議員
(稲沢市選出)

SUZUKI
すずき純



■令和6年度施策及び当初予算に対する提言

桜井政調会長を中心に団員、地方議員、連合愛知等にご協力頂いた来年度の提言書を大村知事に手渡しました。



Ⅱ 雇用・労働・環境政策

- ①男女賃金格差解消や仕事と介護など家庭生活との両立など男女共同参画社会の実現
- ②地球温暖化防止の取組推進及び環境・エネルギー分野の産業振興
- ③サーキュラーエコノミーなど循環型社会の形成に向けた取組の推進

Ⅲ 医療・福祉・教育政策

- ①病児病後児保育など妊娠・出産・子育ての様々な課題解決を通じて少子化対策の推進
- ②カウンセラーや専門的人材配置など良好な教育環境の整備と教員の働き方改革の推進

Ⅳ 安全安心・暮らし政策

- ①激甚化、頻発化する災害に防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策など大規模自然災害に備えた社会資本整備の推進
- ②横断歩行者等妨害等違反やゾーン30+、電動キックボード対策など交通事故防止対策の推進
- ③農林基盤施設の災害対策・老朽化対策・予防保全の推進
- ④人権尊重の社会づくり条例やファミリーシップ制度など差別のない、人権尊重の社会づくり

Ⅴ 地域・行政改革政策

- ①AI・RPA※等のデジタル技術などあいちDX推進プラン2025とICT利活用の推進
- ②地域活性化ビジョンの市町村フレンドシップ事業など第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会の推進

- ③全国有数の農業県として生産性の高い農業を実践するための農業イノベーションの推進

■大規模津波防災総合訓練+

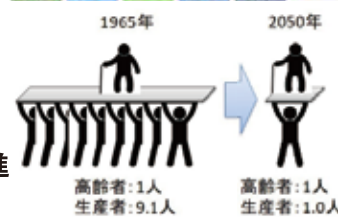
訓練は国土交通省・愛知県・名古屋市・名古屋港管理組合主催、南海トラフ地震対策中部圏戦略会議共催で海上での航路啓開(水中の障害物を除いて船が航行できるようにすること)などが名古屋港ガーデンふ頭で実施されました。また、愛知県主催の津波・地震防災訓練ではシェイクアウト訓練に続き津波一時避難所まで避難訓練を実施、あいち防災フェスタも視察しました。

■連合愛知尾張南地協勉強会

「水」をテーマとした地協の勉強会で皆さんと名古屋港管理組合を訪問し事業概要の聴取や港内視察を行いました。また県議会の議員会館では第3回政策推進議員懇談会が行われ稲沢市議会をはじめ関係市町の議会報告など意見交換をしました。また、鈴木は友好姉妹都市の江蘇省の人民代表大会常務委員会友好代表团歓迎夕食会に出席しました。

Ⅰ ポストコロナ・経済政策

- ①関係機関等との連携強化など新型コロナウイルス感染症を含めた感染症全体への危機管理体制の強化・推進
- ②技術開発や人材の確保・育成及び働き方改革などへ中小企業・小規模事業者に対する継続的な伴走支援の推進
- ③ジブリパークやスポーツイベントなど愛知の魅力を発信し外国人観光客の県内観光消費喚起に向けた取組の推進
- ④Aichi-Startup 戦略及び革新事業創造戦略の推進
- ⑤SDGs 理念に基づく用地開発及び企業ニーズに対応した用地造成の推進



●一市町村一國フレンドシップ事業



■ビクトリア州友好訪問愛知県議会代表团

愛知県とビクトリア州(VIC)は 1980 年に友好姉妹都市(sister state)として提携を結び交流を続け、県議会では一年おきに交互に訪問(コロナで 4 年ぶり)していますが今年度は10月初旬に大村知事がまた議会代表団の翌週には古本副知事が VIC を訪れ友好を深めています。

10月22日に中部国際空港から香港経由でメルボルン国際空港へ(機中1泊)、訪問先は、友好提携10周年記念施設の日本庭園(王立メルボルン動物園内)、STソリューションズ豪州、州首相政務次官、州議会日本友好議連、州議会議事堂、州議会幹部昼食会、トヨタ豪州、メルボルン&オリンピック・パーク、駐メルボルン日本総領事昼食会など多岐に亘りました。帰路はメルボルン国際空港から成田経由で中部国際空港へ5泊6日の日程でした。

全体にわたり鈴木からは友好提携の両県(州)でのPRや州立図書館などでのジブリ関係のイベント、ステーションAiの紹介、留学生の組織化などについて意見交換させて頂き、来年度州議会の皆様の来県を楽しみにしていることをお伝えしました。



●ビクトリア州概要

人口 666万人
(本県の89%、全豪の26%)
面積 227,400 km²
(本県の44倍、全豪の3%)
州都 メルボルン
人口 496万人 面積 5,960 km²



メルボルンのウォーターフロントの夜景 テニスの全豪オープンのメイン会場 都市サークル無料のトラム 島田総領事表敬(総領事公邸にて)

■濃尾用水協議会議員研修視察

宮田用水土地改良区副理事長の充て職で宮田、木津、羽島の各用水からなる濃尾用水協議会(会長：宮田用水瀬戸理事長)の議員として研修視察に参加しました。(宮城県人口226万人面積7,282 km² 石巻市13万人554 km²)

■国営かんがい排水事業

宮城県北東部、石巻市等2市2町にまたがる約4,700haの水田地帯の河南二期地区を視察しました。湛水被害、農業用水の安定供給や排水機能、大規模地震の課題に排水機の新設(広瀬沼、中区)、水路改修など平成28年度から令和9年度の工期、総事業費140億円(平成26年度単価、現状で既に30億円増)の事業を実施しており、中区機場は中区第一排水機場(国営4.05 m³/s)と定川支川排水機場(県営3.35 m³/s)を統合し新設され排水量は13.70 m³/sに強化されました。

■石巻市・震災遺構 門脇小学校

大規模地震への対応の観点から東日本大震災で被害を受けた地域の石巻市震災遺構門脇小学校を尋ねインフラ整備と避難訓練などの重要性を再認識しました。



5台の排水ポンプが並ぶ中区機場 除塵機 水位調整壁(一部可動式)を持つ調整池 県営名古屋空港に向かうFDA356便が 遠くに富士山を望む